

第 3 章

教育の目標

1 目指す人間像

教育は、人を育てることであり、どのような目標に向かって人を育てるか、どのような人を育てることを到達の目標とすべきかが重要です。

小平市教育委員会は、これまで「社会的に自立し、地域・社会に貢献しながら、他者と共生する人」を目指してきました。

この目指す人間像に込められた「自立」「貢献」「共生」を「生きる力」と捉え、子ども、大人に共通する人間像（目指す人間像）として、引き続き、「社会的に自立し、地域・社会に貢献しながら、他者と共生する人」を目指し、学校教育及び社会教育を充実していきます。

〔目指す人間像〕

社会的に**自立**し、地域・社会に**貢献**しながら、他者と**共生**する人

自立

自分で考え、
判断し、
行動できる

貢献

地域や社会に愛着
を持ち、自分にで
きることを考える

共生

他者を認め、
良好な関係を築く

2 計画の基本理念

人口減少や高齢化、デジタルトランスフォーメーション、グローバル化や多極化などがさらに進行し、将来の予測が困難な未来を迎えようとしています。

誰一人取り残されず、一人ひとりの可能性が最大限に引き出されることができるようにするためには、他者への共感や寛容性、さらには多様性を尊重する態度、人間関係を築く力、異なる考えの人々と議論を重ねながら問題を解決していく力などを育成する機会を提供していくことが必要となります。

本計画では、目指す人間像の実現に向けて、計画の基本理念を以下のように設定します。

**学び・体験を通じて お互いに認め合い
励まし合い 共に生きるまち小平**

3 教育の目標

“計画の基本理念”に基づき、3つの教育の目標を定めます。

目標1 自分を認め 他者を認め 一人ひとりの子どもの良さや可能性を最大限に引き出します【自立】

目標2 学校・家庭・地域がつながり 持続可能な教育環境をつくれます【共生】

目標3 一生涯にわたって学び受け継がれる小平の教育の好循環をつくれます【貢献】

4 計画の体系

小平市では、今後10年間、“目指す人間像”の実現に向けて“計画の基本理念”に基づき、“教育の目標”の達成に向けて取り組んでいきます。

具体的には、“教育の目標”達成に向けて、それぞれに“基本的施策”を位置付け、各種教育施策を実行することにより、小平市における教育の質の向上と充実を計画的に進めていきます。

[目指す人間像] [計画の基本理念]

[教育の目標]

[基本的施策]



〔 主な取組 〕

① 授業改善の促進 ② 個別最適な学びと協働的な学びの充実 ③ 体験活動の充実
④ 「全国学力・学習状況調査」及び東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の実施と活用
⑤ 地域と連携した学習支援の充実 ⑥ 小学校教育への円滑な接続 ⑦ 小・幼・保の連携の推進 ⑧ 小・中連携教育の推進
⑨ 家庭学習の充実 ⑩ 学校図書館の活用推進 ⑪ 読書活動の推進

① 体育的な活動の充実 ② 体力テストの結果の活用 ③ 健康教育の推進 ④ 食育の推進 ⑤ 農業者と連携した体験学習の実施
⑥ 学校給食の安全管理の徹底

① 人権教育の推進 ② 多様性への理解促進 ③ 道徳教育の充実 ④ 自尊感情・自己肯定感の醸成に向けた取組
⑤ 高齢者や障がい者との交流及びボランティア活動の推進 ⑥ 多文化共生教育の充実
⑦ いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止の推進 ⑧ いじめ問題に適切に対応する体制づくり ⑨ 不登校対策の充実
⑩ スクールソーシャルワーカーと連携した支援の推進 ⑪ 相談体制の充実

① 小・中学校9年間を見通したキャリア教育の充実 ② 実践的な訓練による安全教育の充実 ③ 情報モラル教育の推進
④ 地域と連携した教育の推進 ⑤ 外国語教育・国際理解教育の推進

① 小平市特別支援教育総合推進計画の推進 ② 就学相談・教育相談の充実 ③ 通常の学級における指導・支援の充実
④ スクールソーシャルワーカーと連携した支援の推進（再掲）
⑤ 他部署・関係機関等との連携（子ども家庭支援センター、児童発達支援センターとの連携）
⑥ 日本語指導が必要な子どもへの支援

① 教員研修の充実 ② 情報活用能力育成に向けた指導力の向上 ③ 服務事故防止の取組の徹底
④ 学校における働き方改革の推進 ⑤ 安全衛生管理の充実 ⑥ 学校への人的支援の充実 ⑦ 校務におけるＩＣＴ機器の活用推進

① コミュニティ・スクールの充実による社会に開かれた学校づくりの推進
② コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ③ 多様な主体との連携 ④ 専門機関等との連携
⑤ 学校評価を活用した学校の経営改善の推進 ⑥ 危機管理体制の整備 ⑦ 教員のメンタルヘルスの保持増進
⑧ 学校施設を核とした地域コミュニティとの連携

① 広報媒体を活用した家庭への働きかけ ② 家庭学習の充実（再掲） ③ 家庭教育に係る相談体制の充実
④ 家庭教育に関する講座や行事の実施 ⑤ 家庭における読書活動の推進
⑥ 体験・交流活動など多様な学びの充実

① 体験・交流活動など多様な学びの充実（再掲） ② 地域スポーツ人材を活用した子どもの体力・運動能力の向上
③ 小平地域教育サポート・ネット事業の推進 ④ 関係機関と連携した安全対策の実施 ⑤ 子どもの居場所に係る取組の充実
⑥ 青少年対策地区委員会による青少年健全育成活動の支援

① 計画的な学校施設の整備 ② ＩＣＴ環境の整備・充実 ③ 関係機関と連携した安全対策の実施（再掲）
④ 経済的支援制度の周知 ⑤ 情報提供の充実による連携強化

① 公民館事業企画委員会による企画講座の実施 ② 図書館を通じた市民の学ぶ機会の拡充 ③ 特定歴史公文書の保存・利用
④ 歴史的資料の収集・管理 ⑤ デジタルサービスの導入 ⑥ 文化財の保存と啓発の推進 ⑦ 学習活動の支援
⑧ 社会人のスキルアップ・学び直しに向けた学習情報・機会の提供と相談 ⑨ ＩＣＴを活用した学びの推進
⑩ 地域の教材・人材の活用による担い手の育成

① 地域活動団体の支援 ② 地域と連携した講座の実施 ③ 地域の伝統文化の継承と推進 ④ 伝統・文化への理解促進
⑤ 地域行事への参加による人とのつながりの醸成

3つの教育の目標について、達成水準を定量的に示したものを、「目標指標」として設定し、令和3年度を現状値として、目標値を目指します。

また、3つの教育の目標別に位置付けられた12の基本的施策について、取組実績がもたらす状況の変化や成果等を定量的に示したものを「成果指標」（第4章にて記載）として設定し、毎年の評価を行います。

目標	目標指標	目標値	対象	平成28年度	令和3年度
1	良いところや得意なことがあるについて、“そう思う”＋“まあそう思う”の割合を増やす	10ポイント増やす	小学校3年生	88.3%	90.1%
			小学校6年生	84.2%	82.8%
			中学校1年生	83.4%	76.5%
			中学校3年生	74.6%	78.7%
	自分を大切な存在だと思うについて、“そう思う”＋“まあそう思う”の割合を増やす	10ポイント増やす	小学校3年生	87.0%	85.6%
			小学校6年生	71.3%	70.0%
			中学校1年生	70.5%	68.1%
			中学校3年生	62.5%	63.1%
2	地域の学校に対して、“協力したいことはない”の割合を減らす	10ポイント減らす	市 民	—	37.1%
	地域とのつながりについて、“交流したいが、交流していない”＋“交流するつもりはない”の割合を減らす	10ポイント減らす	小学校3年生	—	7.3%
			小学校6年生	—	13.9%
			中学校1年生	—	13.1%
			中学校3年生	—	17.7%
			小・中学生の保護者	—	9.8%
			5歳児童の保護者	—	15.7%
			市 民	—	27.7%
3	生涯学習（学習活動）で得た知識・技能・経験について、“ボランティアや地域の活動”＋“他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導”に生かす割合を増やす	10ポイント増やす	市 民	24.6%	18.9%

資料：小平市の教育に関するアンケート調査結果